

# デザイン学部

デザイン学科講師 永井 瀧登

## 1. 研究活動

a 演奏会・展覧会・競技会等の名称・著書・論文・作品等の名称（項目ごとに記入する）	b 発表または発行の年月日	c 演奏会・展覧会の会場・主催等または論文等の発行所・発表雑誌等の名称	d 発表・展示・作品等の内容等・論文概要等（共著の場合のみ編者・著者名を記入）
社団法人 日本サインデザイン協会	2010. 1 ～. 12		中部地区幹事として活動、新規事業委員も兼任
社団法人 日本グラフィックデザイン協会	2010. 1 ～. 12		中部地区幹事として活動
中部クリエイターズクラブ	2010. 1 ～. 12		広報委員、Web制作にも関与
Peace creators in Nagoya (通称 PIN の会)	2010. 1 ～. 12		実行委員、選抜メンバーとして参加
Digitized Editorial Typography Survey	2010. 1 ～. 12		研究助成金を受け、エディトリアルデザインの調査、サーバ・アプリ展開を行う。(調べた限り世界中の大学でまだ上記項目は実施されていない。2年実技授業で実施。今年度研究発表
中部デザイン団体協議会	2010. 1 ～. 12		中部クリエイターズクラブより役員選出(20周年記念特別委員会、新規事業委員会)
名古屋芸術大学	2010. 1 ～. 12		全学 HP 委員会 (H18 より委員長)、広報委員会、全学生涯学習、西キャンパス HP 委員会、基礎実技担当委員会
名古屋芸術大学同窓会	2010. 1 ～. 12		H18 より理事、HP リニューアル担当
名古屋芸術大学 VD コース「ナゴヤ展」	2010. 2	アーツスペースエーワン	VD コース 3 年生「ナゴヤ展」担当
ポストカード - JAGDA in HOKKAIDO 2010	2010. 6	サッポロファクトリーホール	ポストカード出展
中部クリエイターズクラブポスター展 COP10	2010. 1	オアシス 21 銀河の広場、熱田神宮公園	B1 ポスター出展
SaveMe ポスター展	2010. 1	国際デザインセンター	3 年生 VD、IL コースにて実施。本学担当教員
産学協同事業 シヤチハタスタンプ印面デザイン	2010. 8 ～. 12	名古屋芸術大学、シヤチハタ (株) プレゼンルーム	3 年生 VD にて実施。本学担当教員
客員教授檜原由比子氏招聘	2010. 8 ～. 12	名古屋芸術大学	公開講座、ワークショップを実施。本学担当教員
Love&Peace 展日韓交流	2010. 1		PIN の会より選抜。B1 ポスターを制作・展示。韓国のグラフィックデザイナーと交流。図録収録
Peace creators in Nagoya (通称 PIN の会)	2010. 8	Love&Peace 展に参加 (名古屋市民ギャラリー栄)	B1 ポスター 2 枚を制作・展示。韓国のグラフィックデザイナーと交流

社団法人 日本グラフィックデザイナー協会 ジャグダサンデースクール	2010. 11	大同大学	JAGDA サンデースクール講師に選出、イベントにて講師を行うと共に実行委員、名古屋芸術大学学生の担当として参与
JAGDA 新人賞	2010. 9 ～. 10	名古屋芸術大学、国際デザインセンター	本学担当
IDA 台北会議 2011「Design at the Edges」	2010. 11		A1 ポスター提出
日本デザイナー芸術学院	2010. 4 ～. 12		非常勤講師
2010 Busan International Design Festival	2010. 3	Busan Metropolitan City Hall	A1 ポスター出展、作品図録収録

## 2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

f 教育内容・方法の工夫および作成した教材・資料等		g その他教育活動上特筆すべき事項
授業科目 デザイン実技I F1 ◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
ファンデーションと位置づけられる授業でこの学校の特徴ともなっている内容である。実技未経験者でも習得できるようなきめ細かい対応と週毎に項目のステップアップを行うと共に、2クラス共同で授業、講評を行い履修効果を高めている。	教材・資料等は自作。	
授業科目 デザイン実技II VD、IL ◆前期 ◆後期		平成19年度より、研究助成を受け、Digitized Editorial Typography Surveyを授業で展開するとともに、サーバ構築を行っていく予定である。実施されればデザイン教育機関で初の試みとなる。
工夫の概要	教材・資料等の概要	
M&Cブロックの履修を7週間のローテーションにて効率的に行えるようカリキュラムを設定。私はエディトリアルを担当し、デザイン編集技術を実制作に沿ったオリジナルメソッドにより効果的に履修できるよう工夫した。	教材・資料等は自作。(ヴィジュアル資料、実技資料レポート用紙6頁相当)、専用サーバ構築。上記エディトリアルサーベイの教育システムを構築し、データベースを作成している。	
授業科目 デザイン演習3 (MC1) VD ◆前期 □後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
15週を前半、後半に分け前半は環境をテーマにポスター制作を実施、外部業者と連携しポスター展示までを行う。後半はSaveMeポスター展に参加。ポスター表現作品の実技指導を行う。	教材・資料等は自作(レポート用紙20頁相当)資料と、編集デザインの教科書 工藤強勝 日経BP社	

授業科目 デザイン実技 I F3		
□前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
ピクトグラムを用いた表現案の制作を行い、平面系デザインの基礎領域の習得を図るとともに、テーマをデザイン化していくプロセス、それに伴う周辺領域の知識、技術の習得を行いやすいよう工夫した。	教材・資料等は自作。(レポート用紙10枚程度)	
授業科目 デザイン実技 II (MC3) VD		
□前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
プロモーションポスターの制作、エディトリアルデータベースの実施を行う。エディトリアルサーベイにより、編集デザインの基礎デザイン力の向上、プロモーションポスターにより、演出技術の向上を図った。	教材・資料等は自作(レポート用紙20頁相当) 資料と、編集デザインの教科書 工藤強勝 日経 BP 社	
授業科目 デザイン実技 III		
□前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
本学就任時より、学校案内リーフレット、新聞広告をモチーフとして実技授業を実施。制作に当たり、リサーチ、企画立案から取り組み取材なども行わせて企画力、目的に合わせた表現力の向上を図っている。リサーチデータ(出身高校、予備校、本学学生取材)は資料として蓄積し、授業に役立てると共に、本学のリサーチデータとしてストックを行う。	教材・資料等は自作(レポート用紙20頁相当) 資料と、編集デザインの教科書 工藤強勝 日経 BP 社	
授業科目 デザイン演習 3 (MC2) VD (ナゴヤ展、シヤチハタ (株) 産学協同事業		
□前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
前期に習得したマーケティング、企画立案力の応用を行うべく、シヤチハタ (株) との産学協同事業によるスタンプ印面デザインの企画立案、ナゴヤ展プロモーション計画の実施を行った。	教材・資料等は自作。(レポート用紙10枚程度)	

授業科目 デザイン実技 IV (MC2) VD		
<input type="checkbox"/> 前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
最終学年の後期授業として4年間大学で行ってきた制作活動のまとめを行うと共に、自身のデザインへの取り組み、社会とデザインとの関わり、それらを主体にした今後のデザインに対する展望、目標の見直しを行えるよう工夫した。	教材・資料等は自作。(レポート用紙30頁相当。)	
授業科目 公開講座 「特別客員教授 檜原由比子氏」		
<input type="checkbox"/> 前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
(株)資生堂 デザイン室 ディレクター、日本ディスプレイ協会理事、2009日本ディスプレイ協会金賞を受賞した檜原 由比子氏を招き、公開講座を実施した。SDA 理事としてデザイントリプレックスで行われた氏の講演時に招聘を行い、次年度客員教授として迎える計画を立てた。		
授業科目 ワークショップ 「特別客員教授 檜原由比子氏」		
<input type="checkbox"/> 前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
特別客員教授として檜原由比子氏を招き、化粧をテーマとしたディスプレイ構築のワークショップを実施した。事前準備を半年前より計画し、円滑にワークショップが実施出来るよう準備した。		
授業科目 公開講座 「ジャグダ新人賞」		
<input type="checkbox"/> 前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
(社)日本グラフィックデザイン協会が主催する「ジャグダ新人賞」受賞作家を招き公開講座を実施した。本学担当者として実施にあたっての事前準備を半年前より計画し、円滑に公開講座が実施出来るよう準備した。		
授業科目 タイポグラフィ、シンボルマーク制作～媒体展開		
<input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
日本グラフィックデザイナー芸術学院にて、自身のイニシャルを用いたシンボルマーク、タイポグラフィの作成技法、関連領域の知識の習得、及び媒体への展開までを指導した。	教材・資料等は自作。(レポート用紙30頁相当。)	

授業科目 GD デザイン制作		
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
日本グラフィックデザイナー芸術学院にて、岐阜県美術展一般部への出展作品の制作を指導した。		

### 3. 学会等および社会における主な活動

h 学会等の名称	i 活動期間	j 活動概要その他
中部クリエイターズクラブ	2001. 4～	広報委員、IT 担当として活動。代表として中部デザイン団体協議会役員に選出。ポスター展出展など
Peace creators in Nagoya	2000. 4～	実行委員として活動。代表メンバーとしてアジア地区との交流展など積極的に活動。
中部デザイン団体協議会	2001. 4～	H18 年より中部クリエイターズクラブより役員選出(20 周年記念特別委員会、新規事業委員会)ポスター展出展など
社団法人 日本グラフィックデザイナー協会	2001. 4～	中部地区幹事、サンデースクール講師、本学ジャグダ新人賞公開講座担当、ポスター展出展など
社団法人 日本サインデザイン協会	2007. 4～	中部地区幹事として参加
シヤチハタ株式会社	2010. 5～	産学協同事業を実施